

平成25年度 予算を可決

(桐生市役所)

この定例会では、平成25年度桐生市一般会計予算及び11事業の特別会計予算並びに桐生市水道事業会計予算について審議を行い、それぞれ可決しました。なお、同予算を可決するにあたっては、予算特別委員会(委員19人で構成)を設置し、3日間にわたり慎重に審査を行いました。本会議における討論の概要は左記のとおりです。



賛成討論

東日本大震災から2年が経つ中、被災地へ任期付き職員や正規職員を派遣する桐生市の被災地支援について、市長の決断と派遣職員に感謝するとともに市民生活の向上と地域活性化・魅力ある街づくり実現に向けた本予算を高く評価する。

中でも、中小企業新規取引先開拓支援や海外販路開拓支援など当市の経済成長戦略の積極的な発信のほか、FM桐生のエリア拡大、自動起動付き防災ラジオの購入支援、Jアラート情報を自動的に防災無線等に接続・配信することにより必要な情報を瞬時に市民に伝達する災害時情報通信整備等は評価できる。また、イクメン支援事業は子育て環境の充実の一翼を担う大切な事業と認識しており、サイエンスドクター事業は子育て日本一を目指し、人口減少問題を抱える桐生市の大きな解決に向けた政策である。校務支援システム整備では、これまで校務に係る情報管理に問題があったが、本事業が情報管理の徹底に寄与することを強く望むものである。

当初予算における財源内訳をみると主な財源である市税収入の減少が予想され、財政運営上、地方交付税や国庫支出金といった国の財源に頼らざるを得ない状況であるが、義務的経費である人件費の削減は称賛に値するものであり、あわせて公債費比率の改善は財政力を高めることに連動するため今後、経常経費の低減に向けさらなる努力を要望する。

平成25年度は新生総合計画後期基本計画5か年の初年度であり将来都市像『伝統と創造、粋なまち桐生』の実現に向け、各事業の予算が有効かつ適切に執行されることを期待する。

反対討論

国の緊急経済対策で当市は主に道路や下水道などの社会資本整備に予算を充てたが、雇用と景気にはどれだけ効果があるのか。全体としては教育・子育ての分野で新事業も見られるが、市民福祉の増進に寄与するには不十分である。

最近、所得格差が広がる状況がさらに強まり、可処分所得は減少して税金や各種使用料に対しても市民の負担感は増している。緊急経済対策による起債については交付税措置されるということだが、現在のところ、国の新たな政策の財源として消費税以外は見当たらず、市民の大きな不安材料となっている。

市民に対しての新たな負担の可能性や予想される痛みに対しての手当てに欠けることから本予算に反対する。

桐生市議会報告会 意見交換会のお知らせ

桐生市議会は、平成25年第1回定例会の報告会と市民との意見交換会を下記のとおり行います。
申し込みは要りませんので、直接会場へお越しください。
多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

日時 平成25年5月22日(水)
午後6時～午後8時

会場 菱公民館講堂

意見交換会テーマ ①菱地域の現状と課題
②議会改革について

人事案件

市議会は、次の人事案件三件に同意または異議ない旨回答することに決定しました。

固定資産評価審査委員会委員

朝倉泰氏 (再任)

人権擁護委員

八木美介氏 (再任)

竹内満喜子氏 (新任)